

会派名 新政会 支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費目金額						小計
1	調査研究費	交通費		旅費		自動車燃料費		
		資料作成費		調査委託費		振込料		
2	研修費 1、(1/16)地方議員研究会基礎講座(東京都) 2、(1/17)大阪市行政調査 3、(1/18)浜松市行政調査	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費		
		交通費		旅費	693,770	自動車燃料費	693,770	
		資料作成費		食糧費		振込料		
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費		
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代		
		振込料						
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		茶菓子代		振込料		
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費		
		資料作成費		振込料				
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		振込料				
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料		
		振込料						
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料		
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料		
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料		
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費		
		印刷代		振込料		配送手数料		
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)		
		その他						
使用者	共通	 支出年月日	30年 1月 9日	現金出納簿 支出番号	26	合計	693,770 円	

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 26

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 橋本幸一



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	693,770円（1人あたり 99,110円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目 的	1、(1/16) 地方議員研究会基礎講座（質問作成 1000 本ノック、まちづくりのしくみ・アプローチと実践法）	
	2、(1/17) 大阪市行政調査（大阪市 ICT 戦略の推進について）	
	3、(1/18) 浜松市行政調査（リノベーションまちづくりについて）	
用 務 先	1、(1/16) 東京都 TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター	
	2、(1/17) 大阪市 大阪市役所	
	3、(1/18) 静岡県 浜松市役所	
内 容	1、講演 1、質問作成 1000 本ノック、講演 2、まちづくりのしくみ・アプローチと実践法	
	2、大阪市 ICT 戦略の推進について	
	3、リノベーションまちづくりについて	
期 間	30 年 1 月 16 日 ～ 30 年 1 月 18 日（2 泊 3 日）	
行 程	別紙 行程表 の通り	
出張（調査等）者氏名	・橋本幸一（代表者・会長）	・折笠 正
	・石川義和（副会長）	・會田一男
	・廣田耕一	・渡部龍治
	・栗原 晃	・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	29 年 1 月 9 日
			許 可 日	29 年 1 月 9 日
			支 出 日	29 年 1 月 9 日

上記金額を受領しました。

30 年 1 月 9 日

申請代表者氏名 橋本幸一

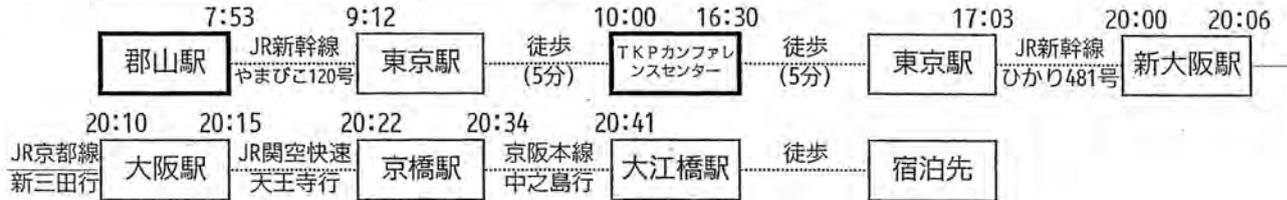


平成29年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

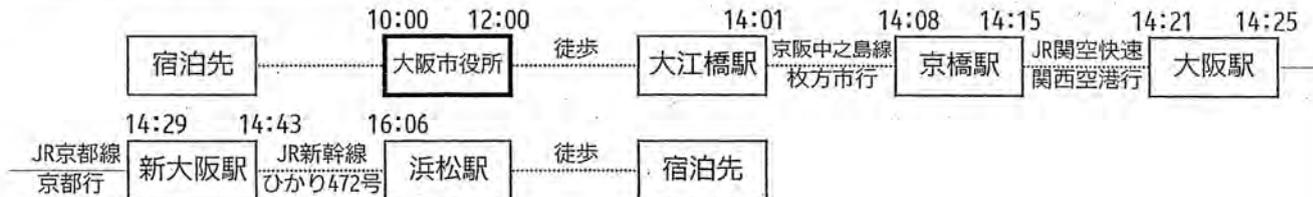
□ 平成30年1月16日 (火)

地方議員研究会基礎講座



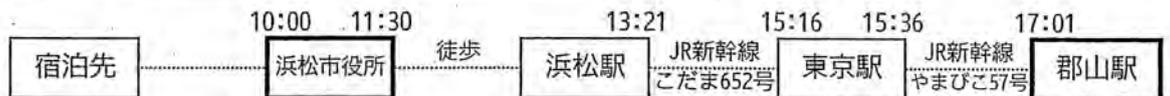
□ 平成30年1月17日 (水)

大阪市：大阪市ICT戦略の推進について



□ 平成30年1月18日 (木)

浜松市：リノベーションまちづくりについて



2 人員 7人

橋本 幸一 議員 (会長)
 石川 義和 議員 (副会長)
 廣田 耕一 議員
 栗原 晃 議員
 折笠 正 議員
 會田 一男 議員
 渡部 龍治 議員

3 調査内容

- 平成30年1月16日 (火) 10:00~16:30
 地方議員研究会基礎講座 (講師：永田潤子 (大阪市立大学大学院准教授))
 (主催 地方議員研究会)
 ・質問作成1000本ノック
 ・まちづくりのしくみ・アプローチと実践法
- 平成30年1月17日 (水) 10:00~12:00
 大阪市行政調査
 ・大阪市ICT戦略の推進について
- 平成30年1月18日 (木) 10:00~11:30
 浜松市行政調査
 ・リノベーションまちづくりについて

4 事務局連絡先・会場

○地方議員研究会基礎講座 (1/16)

【会場】TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
 東京都中央区京橋1-7-1戸田ビルディング

【事務局】地方議員研究会
 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
 電話06-7878-6297

○大阪市行政調査 (1/17)

大阪市会事務局
 大阪府大阪市北区中之島1丁目3番20号
 電話06-6208-8674

○浜松市行政調査 (1/18)

浜松市議会事務局 (担当 ゴトウ様)
 静岡県浜松市中区元城町103-2
 電話053-457-2513

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 橋本 幸一、石川 義和、廣田 耕一、栗原 晃、折笠 正、會田 一男、渡部 龍治
 日程 : 平成30年1月16日(火)～1月18日(水)
 行先 : T K P 東京駅八重洲カンファレンスセンター (東京都中央区京橋1-7-1戸田ビルディング)
 大阪市役所 (大阪府大阪市北区中之島1丁目3番20号)
 浜松市役所 (静岡県浜松市中区元城町103-2)

1/16 (火)	郡山駅	東京駅	新大阪駅	大阪駅	京橋駅	大津橋駅				
	JR新幹線 やまびこ 120号 226.7	JR新幹線 ひかり 481号 552.6	JR京都線 新三田行 3.8	JR関空 快速 天王寺行 4.2	京阪本線 中之島行 3.3					
運賃	10,800				150					10,950
急行料金	3,680	4,870								8,550
グリーン	3,090	5,300								8,390
実費										0

1/17 (水)	大津橋駅	京橋駅	大阪駅	新大阪駅	浜松駅					
	京阪 中之島線 枚方行 3.3	JR関空 快速 関西空港行 4.2	JR京都線 京都行 3.8	JR新幹線 ひかり 472号 295.5						
運賃	150	10,800								10,950
急行料金				3,340						3,340
グリーン				4,110						4,110
実費										0

1/18 (木)	浜松駅	東京駅	郡山駅							
	JR新幹線 こだま 652号 257.1	JR新幹線 やまびこ 57号 226.7								
運賃	※									0
急行料金	3,340	3,680								7,020
グリーン	4,110	3,090								7,200
実費										0

※区間は、前日の乗車券を引き続き利用

交通費	60,510	60,510
日当	3,000 × 3日	= 9,000
宿泊費	14,800 × 2泊	= 29,600
合計	99,110円	× 7人 = 693,770円

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 26

会派会長様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・橋本幸一（代表者・会長）		・折笠 正	
・石川義和（副会長）		・會田一男	
・廣田耕一		・渡部龍治	
・栗原 晃		・	

記

期 間	30年1月16日 ～ 30年1月18日（2泊3日）					
目 的	1、(1/16)地方議員研究会基礎講座（質問作成1000本ノック、まちづくりのしくみ・アプローチと実践法）					
	2、(1/17)大阪市行政調査（大阪市ICT戦略の推進について）					
	3、(1/18)浜松市行政調査（リノベーションまちづくりについて）					
用 務 先	1、(1/16)東京都 TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター					
	2、(1/17)大阪市 大阪市役所					
	3、(1/18)浜松市 浜松市役所					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	1、講演1、質問作成1000本ノック、講演2、まちづくりのしくみ・アプローチと実践法					
	2、大阪市ICT戦略の推進について					
	3、リノベーションまちづくりについて					
旅 費 精 算	受領額	693,770円	精算額	693,770円	返納額	0円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。					
会派会長	経理責任者			受 理 日	30年1月19日
				確 認 日	30年1月19日
				精 算 日	30年1月19日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

平成29年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

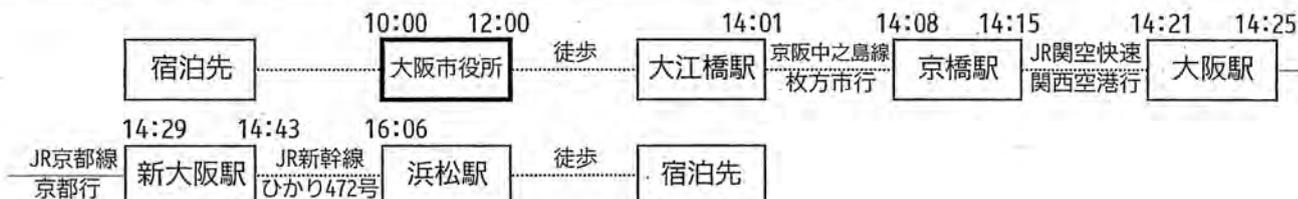
平成30年1月16日 (火)

地方議員研究会基礎講座



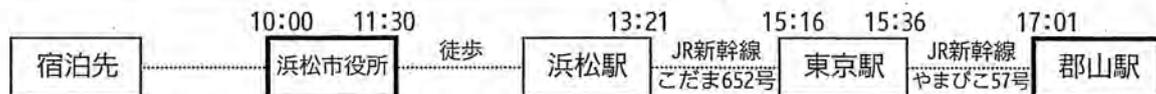
平成30年1月17日 (水)

大阪市：大阪市ICT戦略の推進について



平成30年1月18日 (木)

浜松市：リノベーションまちづくりについて



2 人員

7人

橋本 幸一 議員 (会長)
 石川 義和 議員 (副会長)
 廣田 耕一 議員
 栗原 晃 議員
 折笠 正 議員
 會田 一男 議員
 渡部 龍治 議員

3 調査内容

- 平成30年1月16日 (火) 10:00~16:30
 地方議員研究会基礎講座 (講師：永田潤子 (大阪市立大学大学院准教授))
 (主催 地方議員研究会)
 ・質問作成1000本ノック
 ・まちづくりのしくみ・アプローチと実践法
- 平成30年1月17日 (水) 10:00~12:00
 大阪市行政調査
 ・大阪市ICT戦略の推進について
- 平成30年1月18日 (木) 10:00~11:30
 浜松市行政調査
 ・リノベーションまちづくりについて

4 事務局連絡先・会場

○地方議員研究会基礎講座 (1/16)

【会場】TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
 東京都中央区京橋1-7-1戸田ビルディング

【事務局】地方議員研究会
 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
 電話06-7878-6297

○大阪市行政調査 (1/17)

大阪市会事務局
 大阪府大阪市北区中之島1丁目3番20号
 電話06-6208-8674

○浜松市行政調査 (1/18)

浜松市議会事務局 (担当 ゴトウ様)
 静岡県浜松市中区元城町103-2
 電話053-457-2513

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 橋本 幸一、石川 義和、廣田 耕一、栗原 晃、折笠 正、會田 一男、渡部 龍治
 日程 : 平成30年1月16日(火)～1月18日(水)
 行先 : T K P 東京駅八重洲カンファレンスセンター(東京都中央区京橋1-7-1戸田ビルディング)
 大阪市役所(大阪府大阪市北区中之島1丁目3番20号)
 浜松市役所(静岡県浜松市中区元城町103-2)

1/16 (火)

郡山駅	東 京 駅	新 大 阪 駅	大 阪 駅	京 橋 駅	大 江 橋 駅				
JR新幹線 やまびこ 120号	JR新幹線 ひかり 481号	JR京都線 新三田行	JR関空 快速 天王寺行	京阪本線 中之島行					
226.7	552.6	3.8	4.2	3.3					
運賃	10,800			150					10,950
急行料金	3,680	4,870							8,550
グリーン	3,090	5,300							8,390
実費									0

1/17 (水)

大江橋駅	京 橋 駅	大 阪 駅	新 大 阪 駅	浜 松 駅					
京阪 中之島線 枚方行	JR関空 快速 関西空港行	JR京都線 京都行	JR新幹線 ひかり 472号						
3.3	4.2	3.8	295.5						
運賃	150	10,800							10,950
急行料金			3,340						3,340
グリーン			4,110						4,110
実費									0

1/18 (木)

浜松駅	東 京 駅	郡 山 駅							
JR新幹線 こだま 652号	JR新幹線 やまびこ 57号								
257.1	226.7								
運賃	※								0
急行料金	3,340	3,680							7,020
グリーン	4,110	3,090							7,200
実費									0

※区間は、前日の乗車券を引き続き利用

交通費	60,510		60,510	
日当	3,000 ×	3日 =	9,000	
宿泊費	14,800 ×	2泊 =	29,600	
合計			99,110円	× 7人 = 693,770円

まちづくりのしくみ・アプローチと実践方法

報告者 新政会 渡部 龍治

平成30年1月16日(火)

講師 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 永田 潤子

1. まちづくりとは

地域住民が協働して、あるいは地方自治体と協力して、自らが住み、生活している場を地域にあった住みよい魅力あるものにしていく諸活動

- 1) 物、施設作り
- 2) 暮らしづくり・観光資源・地域産業
- 3) イベントづくり
- 4) 人づくり・生涯学習・健康等

○仕組みをつくる

○行政サービスは、政策、制度、人の3つで整理

2. 地域再生・地域活性化

内発的発展

地域の企業個人が主体になって、地域の資源や人材を利用して地域内で付加価値を生み出し、社会的余剰(利益と租税)を出来るだけ地元に戻元し。地域の福祉・教育・文化を発展させる方法。

2. まちづくりからまちづかいへ

○公的な空間の中に、市民の居場所を作る動き。

- 1) 定着した市民の存在
- 2) 車から人への転換
- 3) パブリックデザイン
- 4) 場所の運営

↑このことから、創造人材・創造産業・創造的ガバナンスが必要。

総括

まちづくりの基本はあくまで人材であり、その人材を育てる環境づくりに行政、政策が存在するのであって、行政が主体的に活動を行う事よりも、市民との協働作業を増やし、ともに考える創造型シティープロモーションを実行することが重要である。将来の人口動向も見据えた、まちづくりには、いち早い都市計画の策定、そして実行力が必要である。郡山市駅前を中心とした都市整備に力を入れなければ、今後の郡山市の発展は望めないものと考えられる。

地方議員研究会

題名 質問作成1000本ブック

講師 永田潤子氏

月日 1月16日

報告者 折笠正

- なぜ質問するのか？ その質問をお事で何を求めるのか、
 として質問した事市当局を含めて何が変わったのか、そして一番
 大事な事は質問しただけで終わらなければいけないが、
~~とでも知るために研究会まで来ては、PDCAサイクルを~~
 駆使しなから今後の議会活動に役立てていきなさい

大阪市ICT戦略の推進について

行政調査日 平成30年1月17日

報告者 會田一男

ICTで出来るものは原則的にICTを活用する、全庁的にICTを徹底的に活用することを推進していくために基本方針を策定し活用の調査研究・企画を行う体制を構築し導入促進を行う。

全庁的に推進するためにペーパーレス化（紙を持ってくるな!!）、具備されているツール（outlook）のスケジューラーの活用やモデル事業（ビッグデータ分析や見守りAI等）の予算計上と実施した。

生活保護のビッグデータ分析、小中学生プログラミング教育（スクラッチ利用）、専任CIO、ICT戦略室・戦略本部の設置しピーコン見守りや行政オンライン調査、AI活用などを行った。

ICTの徹底活用として、情報インフラ（Wi-Fi）、IoTの活用、データ活用促進、最新情報環境への対応、施作に徹底活用、効果的・効率的に行政運営に活用する取り組みとこれまでの蓄積した経験を活かしICT経費の削減とシステムのセキュリティの向上に努めている。

今まで行った事業として、車のビッグデータの活用、オープンデータの推進（PFFからCSVへ）、生活保護の分析、モバイル活用（スマートフォン向けアプリ開発）、教育、防災、市民協働、施設維持管理、行政事務の改善に利用されている。

ICT戦略策定後3年が経って官民データ活用推進基本法に基づき改訂を行う、Smart City, Data Driven, Open Innovation, ICT Literacy, Resilienceへ

めざす姿は（1）便利・快適・安全・安心の都市生活の実現 （2）イノベーションを創出、活力のある大阪 （3）市民サービスの向上と効率的・効果的行政運営 （4）子どもの個性と才能を伸ばしはぐくむ （5）コミュニティ形成と市民協働の促進による新しい公共の実現 である。

徹底的にICTを活用してやろうという姿が見て取れた、セキュリティの問題が頭をかすめたのでその点を質問してみた、市民の個人情報（戸籍等）にかかわる部分については別系統としており簡単にはアクセスできない、我々が持ち歩いているパソコンはハイブリッド型のものでタブレットとしても使え庁内パソコン系（Logは取られている）というものですとっておられた。

たぶん国内でも最先端を走っているものと思います、郡山市においてもICTに強い有能な職員がいると思いますので、スモールスタートでよいから出来るところから始めていくべきと痛切に感じました。

LANケーブルなどワイヤーに縛られているのは時代おくれ？なんでしょうか。

—以上—

浜松市のリノベーションまちづくりについて

報告者 栗原 晃

浜松市では、平成 26 年 4 月 1 日に「浜松市都市再生促進地区における建築物等及び土地の適正な管理及び活用の促進に関する条例（略称 浜松市都市再生促進条例）を施行したことに伴い、都市の空床等の遊休不動産利活用促進事業に取り組んでおり、浜松家守構想を策定するとともに、5 回の「リノベーションスクール@浜松」を開催し、リノベーションまちづくりを進めてきた。

リノベーションスクールは、実際の遊休不動産を題材とし、リノベーションの実践者である講師陣の指導の下、エリアや建物の状況に応じたプランを立案し、不動産オーナーに提案するプログラムを通じて、まちづくりの担い手の育成及びリノベーションの事業化をめざすもので、現在、スクールで取り上げた 16 物件のうち 6 件が事業化検討中である。また、浜松市内においては、それ以外の物件もリノベーションが実施されるなど、リノベーションまちづくりが今後より一層の普及啓発、事業育成が求められている。

リノベーションとは、今ある建物を大規模に改装し、用途を変更したり、機能を高めたりと建築物に新しい価値を加えるもので、単に古い部分の補修や内外装のリフォームとは違います。浜松市ではリノベーションスクールを開催するに当たってはそれに参加する人を自ら声掛けを行い、不動産オーナーを巻き込みながら展開しており、メンバーを集めるのに苦労しているらしい。戦争中、空襲にあい焼野原になった跡地に建設されたビルが多数残る浜松市では、そのオーナーの高齢化、ビルが残っている地区の空洞化が課題となっているためこのような施策が行われた。郡山市では駅前や大町、中町のような地区にあたるのではないかと。定住人口が減少し、若者が郊外にマイホームを建て、浜松に似ているところも見受けられる。この事業には、補助メニューがないことも郡山市と同じである。以前行政視察を行った、新潟市や高崎市のように空き家対策に補助があってもいいのではないかと思います。

地方議員研究会

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もごいますので、お間違いのないようにくれぐれもご注意ください。

3期目までの
自治体議員の
ための

基礎講座 in 東京



1月15日
(月曜日)

10:00～12:30

議員の専門性・キャリアプランニング

国会議員、地方議員の専門性の向上について、総務省を初め、さまざまなところで議論や指摘がなされています。議員の専門性とは何か、どのような議論がされているのかを整理し、これまでのキャリアを活かした専門性の作り方、発信の仕方などを具体的にお伝えします。

14:00～16:30

行政サービスの効果や有効性の分析

多くの自治体で実施されている行政評価のメリット、デメリットを整理し、そのデメリットを克服するための手法である、事業分析手法の考え方とやり方をお話しします。また、事業や課題の構造化(見える化)に必要な考え方や図解なども扱います。

1月16日
(火曜日)

10:00～12:30

質問作成1000本ノック

実際の質問を事例として取り上げ、どうすればより良い質問になるのかをそのポイントを解説しながら、参加者のみなさんと一緒に質問を作り上げていきます。実践力が付く講座です。

14:00～16:30

まちづくりのしくみ・アプローチと実践法

まちづくりという言葉はさまざまな場面や文脈で使われています。まちづくりに関連する内容や項目をこれまでのまちづくりから整理し、これからの課題とアプローチを紹介し、地域力、防災、少子・高齢化、交通など幅広い視点から考えます。

永田 潤子 ながた じゅんこ 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 准教授

1961年、福岡県生まれ。海上保安庁の幹部を養成する海上保安大学校初のただ一人の女子学生として入学。26歳で女性初・最年少で巡視船舶長になる。その後、埼玉大学大学院政策科学研究科(現:政策研究大学院大学)にて政策分析修士号を取得、大阪大学経済学研究科博士後期課程(単位取得満期退学)にて経営学、意思決定について研鑽。1997年海上保安大学校行政官理学講座助教授、2003年4月より現職。

専門は、公共経営論(CSRを含む)であり、個人・組織の関係や組織のマネジメントについて研究する他、マーケティングの視点を活かし「名古屋発!お買物革命」プロジェクト(社会技術開発研究センター)の研究代表を務めるなど、社会問題の解決を目指した理論と実践を試みている。国や地方自治体の審議会・研究会の他、関西経済同友会の若手リーダー養成塾の担任講師や企業のCSR戦略アドバイザーなど幅広く活躍。橋下大阪府知事時代の特別顧問、改革評価委員も務めた。

質問作成1000本ノック

大阪市立大学大学院創造都市研究科

永田 潤子



ケーススタディ: 実際の一般質問通告から

1 コンパクトなまちづくりに向けた取組について

前回の一般質問において、「本市は立地適正化計画について具体的な取組を行っている357都市の1つ」との答弁であったが、今後、計画を策定すると言っておきながら、具体的な取組を行っているは矛盾がある。何故、市民や議会に説明もなく国に対して具体的な取組を行っているとされたのか。また、今後、どのようなスケジュールでどのようなプロセスで取組を進めていく予定なのか伺う。

まちづくりのしくみ・ アプローチと実践方法

大阪市立大学大学院 創造都市研究科

永田 潤子

大阪市 ICTの徹底活用事業について

平成30年1月
大阪市ICT戦略室

Wi-Fiの

1

個人以外報告
戸籍

引継ぎ

セキュリティ
関係

目次

- 1 概要
- 2 実施事業
- 3 これまでの取組結果
- 4 ICT戦略の改訂
- 5 平成29年度実施事業
- 6 参考資料

2

セキュリティの問題は
Wi-Fi

大阪市会



平成 30 年 2 ・ 3 月市会（定例会）日程

2月	2 (金)	< 招集告示 >
	9 (金)	< 開 会 > 本会議
	16 (金) 19 (月) 20 (火)	常任委員会
	23 (金)	本会議
	28 (水)	本会議【代表質問】
3月	1 (木)	本会議【代表質問】
	2 (金)	常任委員会【予算説明】
	7 (水) 8 (木) 9 (金) 12 (月) 13 (火)	常任委員会【予算質疑】
	16 (金) 19 (月) 20 (火)	常任委員会
	26 (月)	常任委員会【予算態度決定】
	27 (火)	本会議< 閉 会 >

※日程は変更される場合があります。



- ※ 本会議は、午後 2 時開会予定です（2 月 28 日・3 月 1 日は代表質問のため時間は未定）。
会議の傍聴は、通常、開会予定時刻の 30 分前から受付を開始します。どなたでも傍聴できます（定員 144 名）。
- ※ 委員会は、午後 1 時開会予定です。どなたでも傍聴できます（1 委員会につき、定員 10 名）。
- ※ 本会議・委員会の模様は、市役所内でモニター放映をいたします。あわせて、市会ホームページにおいても生中継及び録画放映をいたします。

鈴木 五郎
在々不

シェアハウス、熱海

平成30年1月18日

市街地整備課

浜松のリノベーションまちづくりについて

35%
77%
81%
100%

1. 趣旨、経緯

- 本市では、平成26年4月1日に「浜松市都市再生促進地区における建築物等及び土地の適正な管理及び活用の促進に関する条例（略称 浜松市都市再生促進条例）」を施行したことに伴い、都心の空き床等の遊休不動産利活用促進事業に取り組んでおり、浜松家守構想を策定するとともに、5回の「リノベーションスクール@浜松」を開催し、リノベーションまちづくりを進めてきた。
実物が60~70%で占めるって使われてるってこと。
- リノベーションスクールは、実際の遊休不動産を題材とし、リノベーションの実践者である講師陣の指導の下、エリアや建物の状況などに応じたプランを立案し、不動産オーナーに提案するプログラムを通じて、まちづくりの担い手の育成及びリノベーションの事業化を目指すもの。
ターゲットがもう少し広い。空室削減。
- 現在、スクールで取り上げた16物件のうち6物件が事業化され、6物件が事業化検討中である。また、浜松市内においては、それ以外の物件もリノベーションが実践されるなど、リノベーションまちづくりが進みつつあり、今後より一層の普及啓発、事業家育成が求められている。
リノベーションスクールに集める... (本づくり) 効果と課題をいかにクリアする?

ターゲットを
意識

※家守（舎）とは

家守とは江戸時代に借地・借家を管理してまちづくりの世話をを行った民間人のこと。それを現代に置き換え、遊休不動産をエリアの価値を高めながら管理、活用する民間人（会社）のことを言う。

法律の問題をいかにクリアする?

2. 実績（浜松）

- ①リノベーションシンポジウムの開催 10回（H26. 10月～）
- ②リノベーションスクールの開催 5回（H27. 1月～H29. 11月）、16物件
- ③スクール物件の事業化数 6件
- ④家守舎（民間）の組成 3団体

※別に、オーナー自身や個人で家守事業を展開している例もある。

3. 今年度の実績

- ・リノベーションシンポジウムの開催（2回）
- ・リノベーションスクールの開催（1回）
- ・家守（舎）を育成するための講習会やスクール後の受講生に対するフォローアップの実施 等

4. 全国のリノベーションスクールの実績（平成29年3月時点）

- ①開催都市数 32都市 *ア小倉*
- ※主な開催都市 北九州市、豊島区、和歌山市、鳥取市、草加市、甲府市、紫波町、岡崎市、熱海市、沼津市など
- ②リノベーションスクールの開催数 80回
- ③事業化数 54件

始めよう、 リノベーションまちづくり



今、浜松の市街地では、建物をリノベーションする事例が増え、まちに新しい変化を生み出しています。

「ほしい暮らしは自分で作る」
まちの未来を考えながら、自分たちの手で、自分たちの考えたように、建物のリノベーションを行い、生活を楽しんでいる人が増えています。



◎そもそもリノベーションとは？

今ある建物を大規模に改装し、用途を変更したり、機能を高めたりと建築物に新しい価値を加えること。単に古い部分の補修や、内外装の変更程度のリフォームとは異なります。



ぶらす + 新しい価値

ぶらす + 性能・機能

ぶらす + 原状回復

リノベーション

◎リノベーションまちづくりとは？

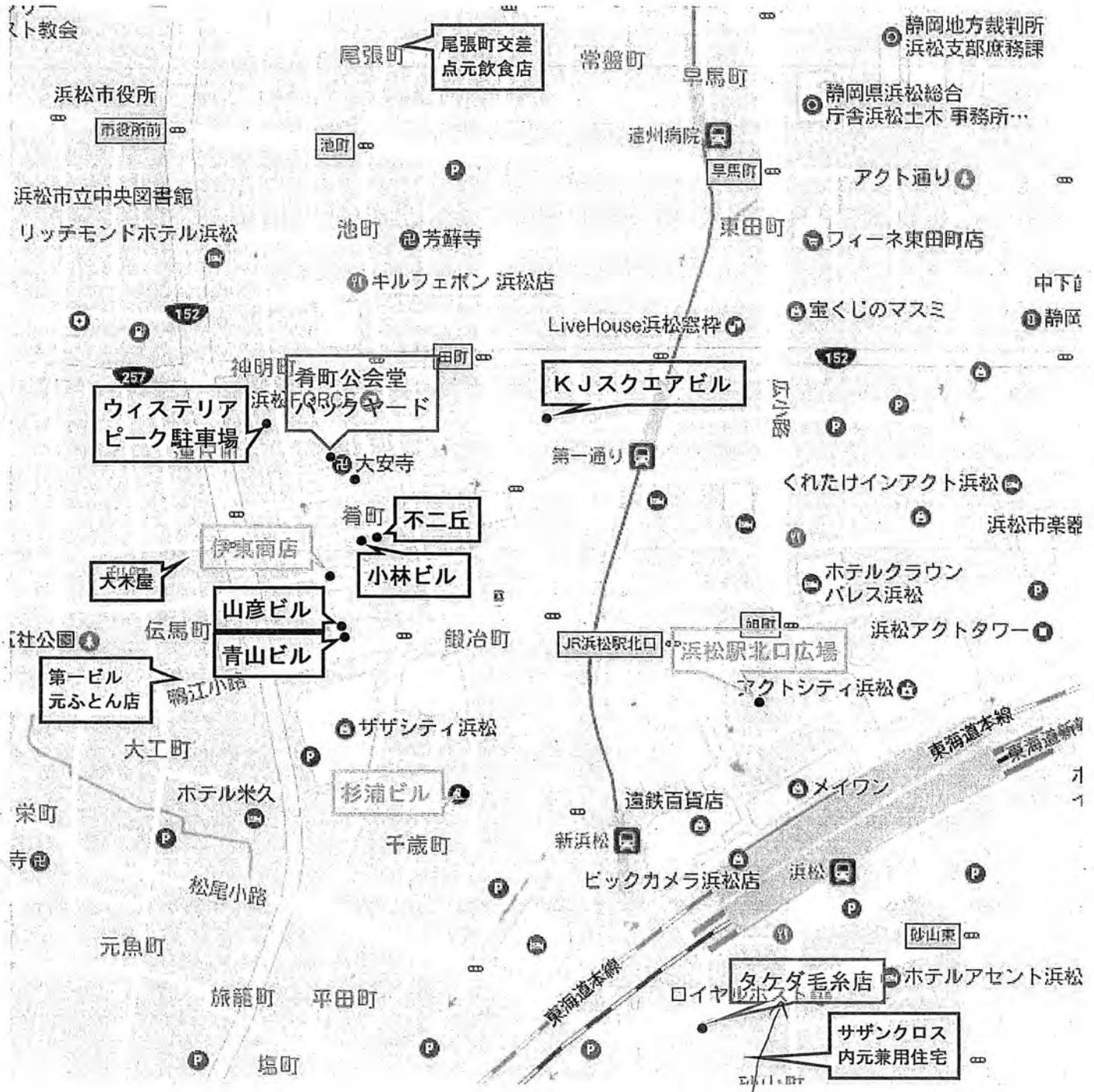
リノベーションまちづくりとは、空き家などの遊休不動産をリノベーションの手法を使って再生し、産業振興や雇用創出、地域のコミュニティの再生や価値の向上などを旨とするものです。

市では、中区肴町を中心に進めており、浜松^{やもり}家守構想(5ページ参照)の実現や、リノベーションスクールの開催などにより、市街地の再生を図っています。

◎この特集に関するお問い合わせは、市街地整備課(☎ 457-2342)へお寄せください。

第1~5回リノベーションスクール@浜松 物件位置図

- 第1回
- 第2回
- 第3回
- 第4回
- 第5回



210712

。懐かしく
新しい
ない

浜松家守構想

浜松ヒューマンパーク Hamamatsu Human Park

2014年12月

浜松家守構想検討会

浜松家守構想 浜松ヒューマンパーク 概要

浜松家守構想は、商業施設の撤退や人口の減少により増加している中心市街地の空きが、都市内景観の悪化した空きを有効に活用し、活力があり、若年層のある人を呼び込み、身元のある空間にリノベーションする、そして、郊外に連綿と、新たな産業を創出し、周辺の中心市街地を活性化させる。これにより、中心市街地を「新しいまちの拠点」として、ライフスタイルを創出するまちづくりを行うのである。

浜松市中心市街地の後継を基盤に、現在抱える課題を解決することを目指し、50年後の未来を見据え、まちづくりを行う。

テーマ
官民の遊休不動産活用 ×
新たな働き稼ぐ場の創造 ×
子供が育ち暮らす場の整備 ×
人々が遊び交流する場の構築 =
新しいライフスタイルを創造する場
“浜松ヒューマンパーク”

課題の整理

- ★浜松市の課題
 - ・広大な面積に市民が分散して居住
 - ・人口減少と高齢化
 - ・膨大なインフラ・公共施設の維持管理
 - ・産業の空洞化・雇用の減少
 - ・中心性の喪失

- ★中心市街地の課題
 - ・商業・業務機能の衰退
(店舗だけでなく、オフィスも減少)
 - ・それに伴う来街者・雇用の減少
 - ・社会変化への対応力の欠如
 - ・遊休ストックの増大(建物、青空駐車場、公共空間)
 - ・高齢化の進行によりコミュニティの維持が困難
 - ・歩いて楽しくない、時間を消費する場がない、買いたいものがない

(コンセプト)

- ・当市では、輸送用機械、織機、楽器等を中心に様々な製造業が起り発展してきた。また、豊富な農産物、食材などに恵まれている。
- ・しかし、経済・社会動向、工場の国内・国外移転等により産業の空洞化に直面しており、さらに中心市街地は大型商業施設の郊外移転によりにぎわいを無くし、人口が流出傾向にある。
- ・したがって、今後は時代の変化に対応し、より生活に密着したジャンルでイノベーションを行っていくことが必要。そこで、郊外の産業、自然等と連携しつつ、「やまいか精神」(起業精神)を発揮し、中心市街地に①新たな働き稼ぐ場、②子供が育ち暮らす場、③人々が遊び交流する場、を整備し、それにより都市型産業を創造していく。
- ・目指すものは、中心市街地に点在する空き不動産の再生と、その中身となる働く場、暮らす場、遊ぶ場の整備による新しいライフスタイルの創造である。

5th RENOVATION SCHOOL @HAMAMATSU

第5回 リノベーションスクール@浜松

2017 11/10 FRI 11 SAT 12 SUN

今動かさずして

街に眠る力を解放せよ！
何かを生み出す街、浜松
街を再生させ、自分も再生させる
街の再生は、欲しい場所から

いつ動く！

受講生募集！！

リノベーションスクールとは

今、日本は多くの都市で人口減少などの様々な社会問題により空洞化が進み、わたしたちのまち浜松も例外ではありません。

このような社会的課題を解決するため、街を再生し、自分も再生させ、欲しい暮らしの実現を目指す仲間たちが集う場、それがリノベーションスクールです。

受講生は、まちなかの遊休不動産を対象に様々なバックグラウンドを持つ仲間たちとチームを組んで、まちの未来について考えます。

3日間で受講生と講師陣が一体となって、事業プランを練り上げ、最終日にはオーナーに提案を行い、スクール後の事業化を目指します。

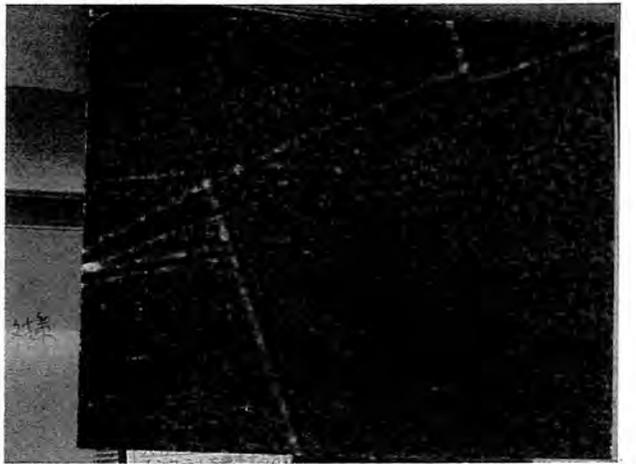
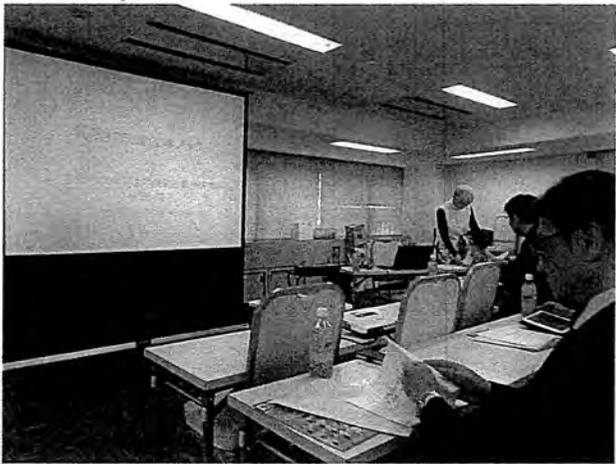
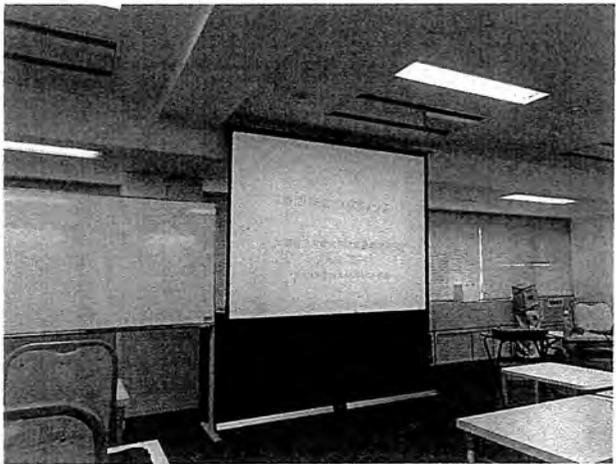
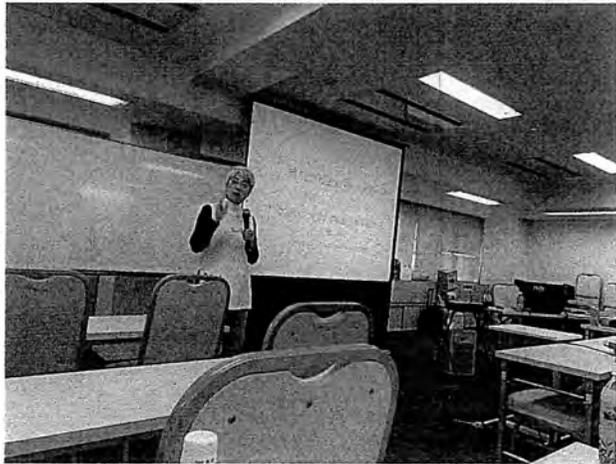
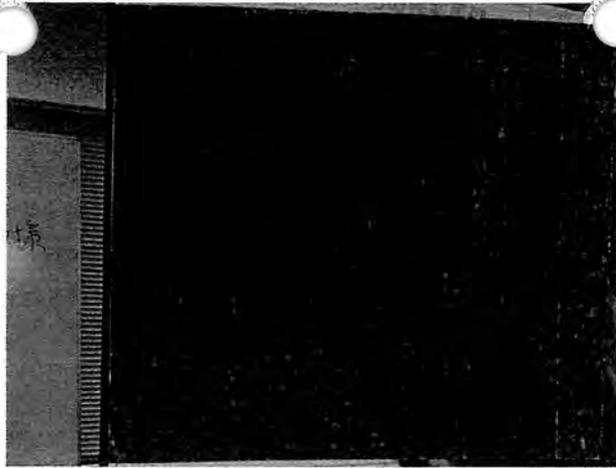


会場 / ■ユニットワーク会場
有町公会堂【浜松市中区有町316-3】
■公開プレゼン会場
サザンクロス商店街【浜松市中区砂山町】

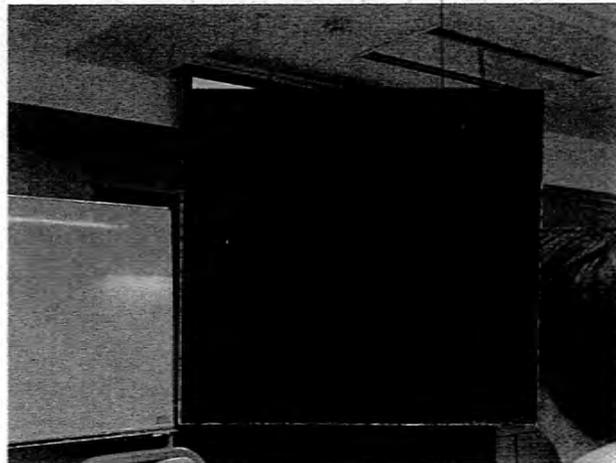
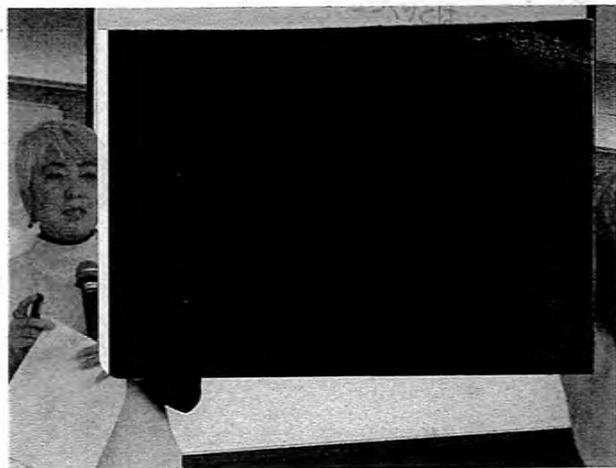
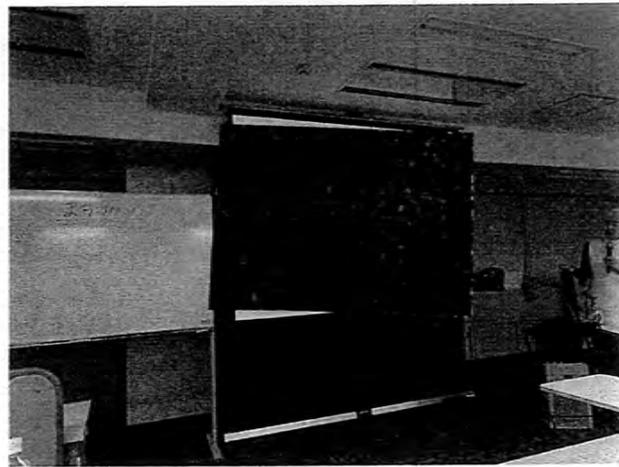
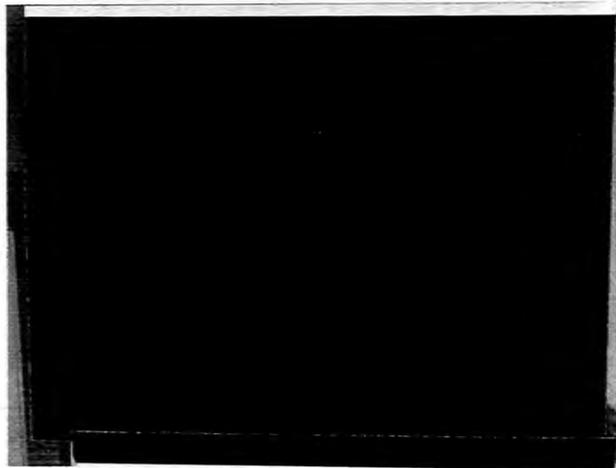
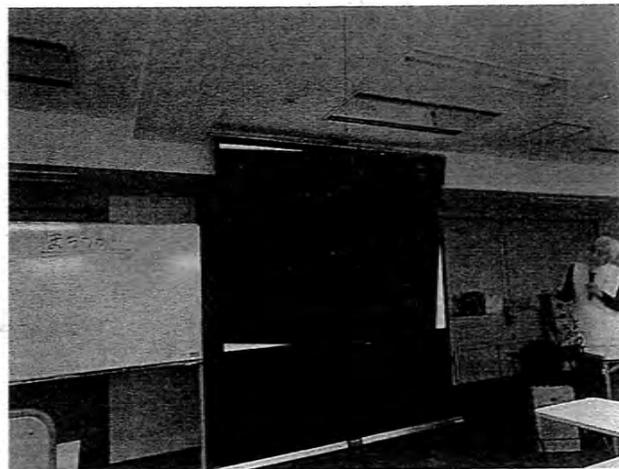
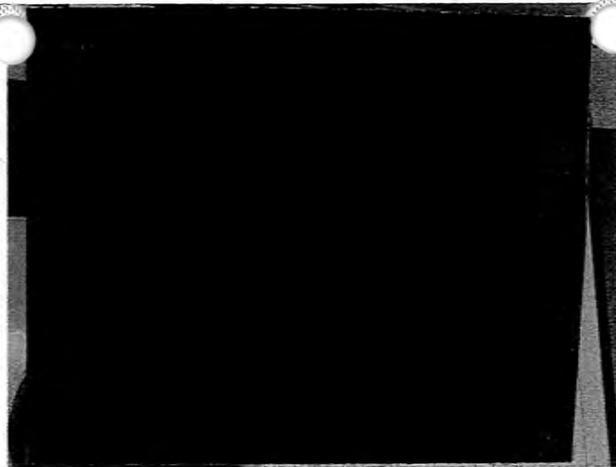
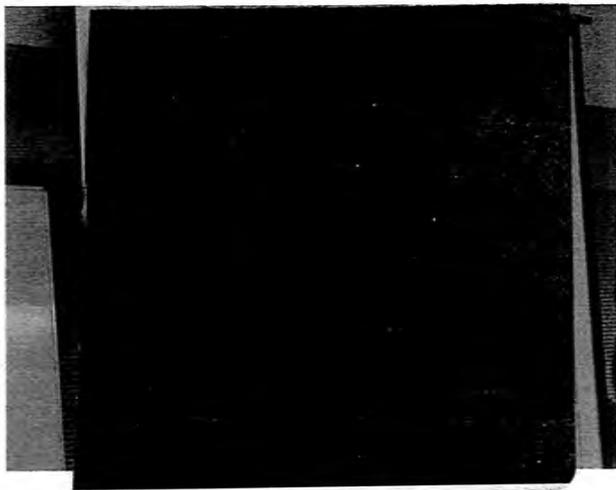
浜松市議会概要

平成29年度予算の概要

浜松市議会事務局



26

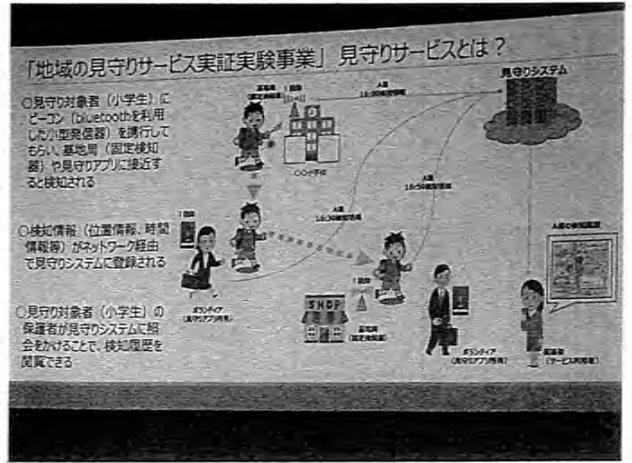
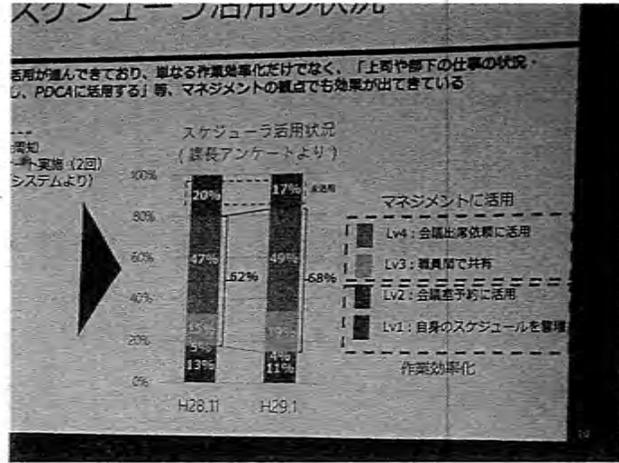
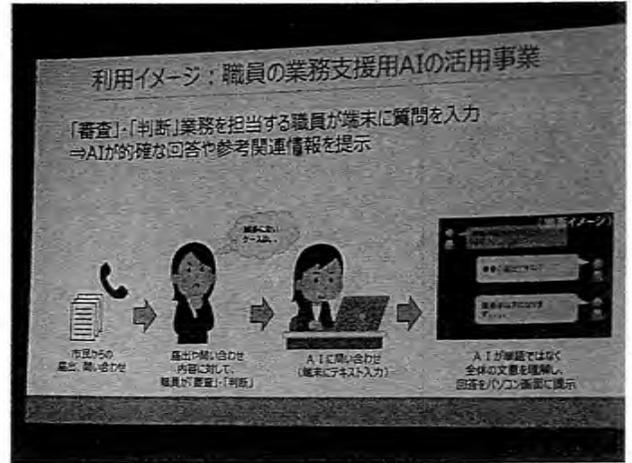
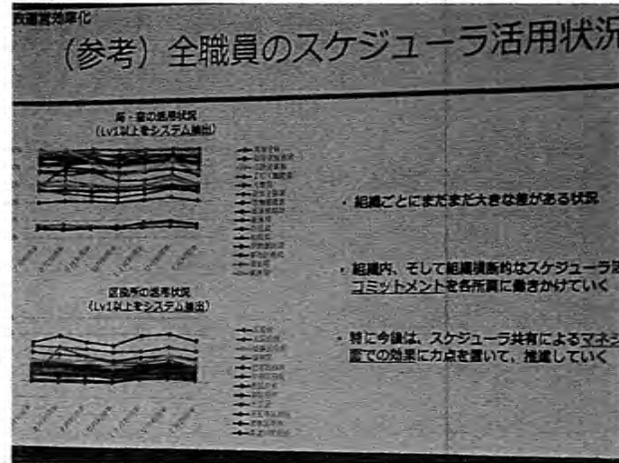
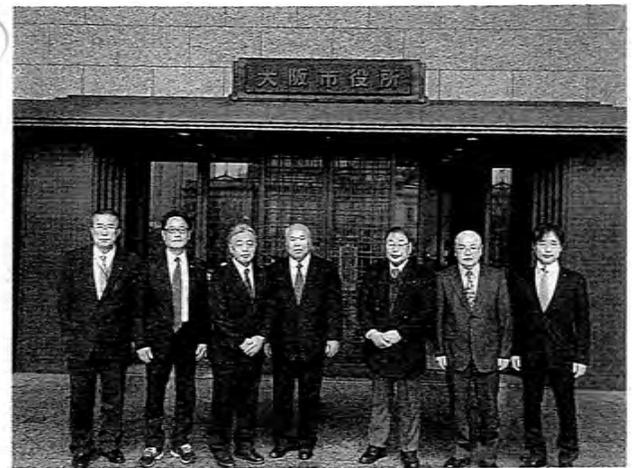


96

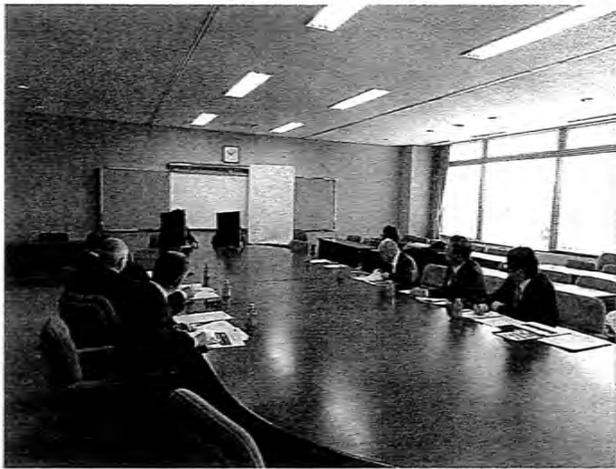
1/16



H28	屋上階	P1会議室(1室)
H28	7階(北)	都市計画局 局長室
H29	7階(西)	都市計画局(計画部全エリア)
H29	4階(北)	市民局 全エリア
H28	5階(南)	政策企画室(市長室、秘書担当執務室)
H28	5階(南)	特別会議室、大応接室、中応接室
H28	4階(南)	総務局(局長室、行政部、会議室)
H29	4階(南)	総務局(行政部、会議室2室)
H28	4階(西)	行政委員会事務局(委員会室)
H28	B1階(南)	総務局(分室)
H29	B1階(南)	総務局(区長控室)
H29	B1階(南)	総務局(監察部)
H29	B1階	第1・2・3・4・5・6・7・10・11共通通会議室



2/6
1/17



バスロケーションシステム

行先	バスの現在位置	行先	バスの現在位置
御山寺温泉	御山寺温泉	山の手・松本	山の手・松本
神田	神田	山の手・松本	山の手・松本
大久保・山崎	大久保・山崎	山の手・松本	山の手・松本
伊勢崎	伊勢崎	山の手・松本	山の手・松本
美町・湯島	美町・湯島	山の手・松本	山の手・松本
美町・都田	美町・都田	山の手・松本	山の手・松本
和合・西山	和合・西山	山の手・松本	山の手・松本
山崎	山崎	山の手・松本	山の手・松本
山崎	山崎	山の手・松本	山の手・松本



26

1/18

26

大阪市 ICT戦略室
企画担当課長

矢野 尚之

YANO NAOYUKI



〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20
Tel:06-6208-7507
Fax:050-3737-2976
E-mail: [REDACTED]

大阪市 ICT戦略室

企画担当課長代理

たなか まさふみ

田中 正史

Tanaka Masafumi

〒530-8201
大阪市北区中之島1丁目3番20号 大阪役所地下2階
TEL: 06-6208-7507 FAX: 050-3737-2976
組織mail: ba0034@city.osaka.lg.jp
個人mail: [REDACTED]

大阪市ICT戦略室

企画担当課長代理

細田 泰彦

Hosoda Yasuhiko

〒530-8201
大阪市北区中之島1丁目3番20号(大阪役所)
TEL: 06-6208-7676 / FAX: 050-3737-2976
E-mail: [REDACTED]



議 長
渥 美 誠
浜 松 市 議 会

〒四三〇一八六五二
浜松市中区元城町一〇三番地の二
電話



浜松市
みんなで創る、元気な未来。



都市整備部
市街地整備課 専門監兼課長補佐
鈴木 祥司

〒430-0946 浜松市中区元城町103-2 4階
TEL. 053-457-2716 FAX. 050-3730-2198
E-mail: shigaichi@city.hamamatsu.shizuoka.jp
<http://city.hamamatsu.shizuoka.jp>



浜松市
みんなで創る、元気な未来。



都市整備部 市街地整備課
再開発グループ長
副主幹 佐々木 豊

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2
TEL. 053-457-2342 FAX. 050-3730-2198
E-mail: shigaichi@city.hamamatsu.shizuoka.jp